

業務部速報



No. 46

発行 22. 12. 27

JR東労組 業務部

「小山新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」提案を受ける！

JR東労組は会社より「小山新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」提案を受けました。提案の内容は、新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線車両センター業務執行体制の見直しを行うものです。検査体制を見直すことで、これまで以上に教育や各種施策に取り組み、人材育成の時間に充てていくことで、車両品質の向上と社員の成長が目的とされています。詳細は以下の通りです。

1 実施事項

仕業検査における手順等を見直し、業務執行体制を変更する。

◆作業動線や検査手順の見直しにより、現行の4名体制を3名体制に変更

現行 4名体制

- A担当 屋根上点検
運転台整備
- B担当 屋根上点検
運転台整備
- C担当 床下点検（1位側）
客室内点検
- D担当 床下点検（2位側・中央）



新体制 3名体制

- A担当 屋根上点検
運転台整備
- B担当 屋根上点検
床下点検（1位側）
客室点検
- C担当 床下点検（2位側・中央）

◆仕業検査時分の変更

- ・E5系 現行40分から55分へ変更
- ・E5系+E6系 現行65分から85分へ変更
- ・E2系+E3系 現行65分から85分へ変更
- ・E7/W7系 現行45分から60分へ変更

◆仕業検査計画本数の変更(8本/日→7本/日)

2 実施箇所

小山新幹線車両センター

3 提案箇所体制

		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
小山新幹線車両センター	管理	5	1	6	5	1	6
	一般	12	3	15	11	3	14

4 実施時期 2023年3月18日

議論で示された主な内容

- 業務研究をベースにして、これまで様々なトライアルを行い、4名から3名体制のトライアルを重ねた結果、実施出来ると判断して行っている。
- 今回の体制変更で大きい設備投資は行わないが、必要なものは揃えていく。
- 課題や様々な意見に対しては、準備期間において検証し改善を図っていく。

職場からの議論で安全なメンテナンス体制を構築しよう！